

アキレスと亀 (2008)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 119分

初公開日 2008/09/20

公開情報 東京テアトル=オフィス北野

【キャッチコピー】

スキ、だけど。

スキ、だから。

夢を追いかける夫婦の物語。

【解説】

北野武監督が主演のほか、本編中の挿入画も手掛け、つましくも温かな夫婦愛を描いたヒューマン・ドラマ。画家になることだけを夢見る甲斐性なしの主人公と、そんな彼を献身的に支える妻が二人三脚で夢を追いかける姿を、様々なアートを取り上げて芸術論を展開させつつユーモラスかつオフビートなタッチで綴る。共演は「明日の記憶」の樋口可南子。

裕福な家庭に生まれた真知寿は、幼い頃から絵を描くことが大好きで、“画家になる”夢を抱いていた。しかし、ある時父の会社が倒産し、さらに突然両親が自殺したことで環境が一変。芸術に無理解な叔父の家に預けられ、辛く孤独な少年時代を送るハメに。そんな真知寿にとって、画家になるという信念だけが生きる支えだった。しかし大人になってからも、思いとは裏腹になかなか画家として芽が出ない日々が続く。そんな彼はある日、ひとりの理解者、幸子と出会う。彼女は絵を描くことしか知らない純朴な真知寿に惹かれていった。やがて2人は結婚、真知寿の夢は夫婦の夢となり、成功を掴むため様々なアートに挑戦していくのだが…。

【クレジット】

監督	北野武	Takeshi Kitano
プロデューサー	森昌行	Masayuki Mori
	吉田多喜男	
ラインプロデューサー	小宮慎二	
アソシエイトプロデューサー	久保聡	
	梅澤道彦	
	太田和宏	
	那須野哲弥	
脚本	北野武	Takeshi Kitano
撮影	柳島克己	
美術	磯田典宏	
編集	北野武	Takeshi Kitano
	太田義則	
音響効果	柴崎憲治	
音楽	梶浦由記	
挿入画	北野武	Takeshi Kitano

照明	高屋齋		
録音	堀内戦治		
記録	谷恵子		
助監督	松川嵩史		
出演	ビートたけし	Beat Takeshi	倉持真知寿
	樋口可南子		幸子
	柳憂怜		倉持真知寿（青年時代）
	麻生久美子		幸子（青年時代）
	中尾彬		倉持利助
	伊武雅刀		菊田昭雄
	大杉漣		倉持富輔
	大森南朋		画商
	筒井真理子		倉持春
	吉岡滯皇		倉持真知寿（少年時代）
	円城寺あや		富輔の妻
	徳永えり		倉持マリ
	仁科貴		
	寺島進		
	六平直政		
	ふせえり		
	大林丈史		
	不破万作		
	ビートきよし	Beat Kiyoshi	
	大竹まこと		
	三又又三		
	林田麻里		
	アル北郷	Aru Kitazato	
	お宮の松	Omiya No Matsu	
	松坂早苗		
	丸岡奨詞		
	風祭ゆき		
	武重勉		
	山野海		
	こばやしあきこ		
	須永慶		
	諏訪太郎		
	ボビー・オロゴン		
	電撃ネットワーク	Dengeki Network	